

筑後川・矢部川魚類目録

塚原, 博
九州大学農学部水産学教室

<https://doi.org/10.15017/21241>

出版情報 : 九州大学農学部学藝雑誌. 13 (1/4), pp.289-293, 1951-11. 九州大学農学部
バージョン :
権利関係 :

筑後川・矢部川魚類目録*

塚 原 博

List of fishes of Chikugo and Yabe River

Hiroshi Tsukahara

(1) 緒 言

九州に於ける淡水魚の記録は比較的少いに拘らず、筑後川水域のみは生物地理学上から関心が持たれて数々の記録があり、木下盛枝氏(1933)は矢部川の魚類目録を柳河を中心として纏められ、池田兵司氏(1937)は筑後川水域全般に亘つて淡水魚の目録を作り、この水域への大陸系魚類の浸潤に就て考察されている。筆者は1944年(昭和19年)来この地方の淡水魚に就て、増殖学的見地より個体生態及び群衆生態的研究を総合的に行つてゐるが、この間に蓄積された資料に基づいて魚類目録を作製した。この研究に当り御指導を賜い、御校閲を戴いた内田恵太郎教授に感謝するとともに、現地に於ける採集に就て御援助戴いた柳河在住の木下盛枝氏に厚く御礼申し上げる。

(2) 筑後川・矢部川の状況

筑後川は筑紫二郎の称ある九州第一の大河で、源を熊本縣及び大分縣に發し、杖立川・大山川・田代川・玖珠川・花月川等を集めて三隈川となり、福岡縣に入つて筑後川(千年川)となり筑後平野を西流して有明海に注いでゐる。矢部川は福岡・大分兩縣境より源を發し、星野川を集めて八女・山門兩郡を西流して有明海に注いでゐる。この兩河川は矢部川中流部より發して筑後川下流部に注ぐ山の井川・花宗川の灌溉用河川によつて通じており、下流部は幾重にも別れて網目狀の灌溉用水溝及び用水堀を作り水郷の名がある。又兩河川の下流部は有明海の潮汐の干満の差が大きいため、相当広範圍の海水・瀛水域及び水位の影響を受ける淡水域を生じて特異な形態をなしている。このため有明海の海産魚でこの河川に出入するものが多数認められるが、これ等に就ては別に報告する。尙マエツ・チヨウセンエツ・クルメサヨリ・メナダ・ハゼクチは下流の純淡水域でこれ等を対象とした漁業が営まれているのでこの目録中に加えた。

(3) 目 録

| 学 名 Scientific Name | 標準和名 Common Name | (方 言) (Local Name) |
|------------------------------------|---------------------|-----------------------|
| Family Petromyzontidae | ヤツメウナギ科 | |
| 1. <i>Lampetra planeri</i> (Bloch) | スナヤツメ | (ヤツメウナギ, メ) クラウナギ |

* 九州大学農学部水産学教室築撰。本研究は文部省科学研究費によつてなされた(内田恵太郎)。

- Family Engraulidae カタクチイワシ科
2. *Coilia mystus* (Linnaeus) マ エ ツ (エ ツ)
3. *Coilia ectenes* Jordan et Seale チョウセンエツ (エ ツ)
- Family Salmonidae サ ケ 科
4. *Oncorhynchus rhodurus* Jordan et McGregor ヤ マ メ (エ ノ ハ)
- Family Plecoglossidae ア ヌ 科
5. *Plecoglossus altivelis* Temminck et Schlegel ア ヌ (ア イ)
- Family Cyprinodontidae メダカ科
6. *Aplocheilichthys latipes* (Temminck et Schlegel) メダカ (ザコ, メザコ)
- Family Siluridae ナ マ ズ 科
7. *Parasilurus asotus* (Linnaeus) ナ マ ズ (ナ マ ズ)
- Family Bagridae ギ ギ 科
8. *Pseudobagrus aurantiacus* (Temminck et Schlegel) ギ バ チ (ギユギユ, ギユギ) ユナマズ
9. *Liobagrus reini* Hilgendorf ア カ ザ (アカギユギユ, ア) カナマズ
- Family Cyprinidae コ イ 科
10. *Carassius carassius* (Linnaeus) フ ナ (フナ, ホンブナ, キンブナ, ギンブナ, ヒラブナ, イシブナ)
11. *Cyprinus carpio* Linnaeus コ イ (コ イ)
12. *Rhodeus ocellatus* (Kner) バラクナゴ (ニガブナ, ハエ)
13. *Acanthorhodeus atremius* Jordan et Thompson カゼトゲクナゴ (ニガブナ, ハエ)
14. *Acheilognathus rhombea* (Temminck et Schlegel) カネヒラ (三年シュブク)
15. *Acheilognathus tabira* Jordan et Thompson タビラ (シュブク)
16. *Acheilognathus lanceolata* (Temminck et Schlegel) ヤリクナゴ (ベンジョ, ベンジョ) ヨコ, ジメキ, シュブク
17. *Acheilognathus limbata* (Temminck et Schlegel) アブラボテ (クソバエ)
18. *Hemibarbus barbatus* (Temminck et Schlegel) ニゴイ (ミゴイ)
19. *Gnathopogon gracilis* (Temminck et Schlegel) イトモロコ (カクッチロ, ホソ) モロコ

20. *Pseudogobio esocinus* (Temminck et Schlegel)
 カマツカ (ガマツカ, カマツカ)
 ドンコ
21. *Sarcocheilichthys variegatus* (Temminck et Schlegel)
 ヒガイ (イシバエ)
22. *Abottina rivularis* (Basilewsky) ツチフキ (ドロカマツカ, ド)
 モモロコ
23. *Pungtungia herzi* Herzenstein ムギツク (スポクチ)
24. *Biwia zezera* (Ishikawa) ゼゼラ (ザ コ)
25. *Pseudorasbora parva* (Temminck et Schlegel)
 モツゴ (ダゴバエ)
26. *Hemigrammocypripis rasborella* Fowler
 カワバタモロコ (ザ コ)
27. *Tribolodon hakonensis* (Günther) ウグイ (イ ダ)
28. *Moroco steindachneri* (Sauvage) アブラハヤ (アブラメ)
29. *Zacco platypus* (Temminck et Schlegel)
 オイカワ (アサチバエ(♂),
 (アサジ(♂), シラ)
 ハエ, ハヤ)
30. *Zacco temminckii* (Temminck et Schlegel)
 カワムツ (ヤマトバエ, ヤマツ)
31. *Cobitis taenia* Linnaeus シマドジョウ (カワドジョウ)
32. *Misgurnus anguillicaudatus* (Cantor)
 ドジョウ (ドジョウ)
- Family Anguillidae ウナギ科
33. *Anguilla japonica* Temminck et Schlegel
 ウナギ (ウナギ, アカ, アオ)
 ガネクイ, マイオ)
- Family Hemirhamphidae サヨリ科
34. *Hemirhamphus kurumeus* Jordan et Starks
 クルメサヨリ (サヨリ)
- Family Mugilidae ボラ科
35. *Mugil cephalus* Linnaeus マボラ (ボラ, クロメ)
36. *Liza haematocheila* (Temminck et Schlegel)
 メナダ (ヤスミ, アカメ)
- Family Ophicephalidae カムルチー科
37. *Ophicephalus argus* (Cantor) カムルチー (タイワンドジョウ)
 ウ, ライギョ)
- Family Serranidae スズキ科
38. *Lateolabrax japonicus* (Cuvier et Valenciennes)
 スズキ (スズキ, ハクラ(幼))

39. *Coreoperca kawamebari* (Temminck et Schlegel)
 オヤニラミ (ミズクリセーベエ,
 セーベエ, シーピン)
 Family Cottidae カジカ科
40. *Trachidermus fasciatus* Heckel ヤマノカミ (ヤマノカミ, タチヤ)
41. *Cottus kazika* Jordan et Starks カマキリ (ミゾドンボ)
42. *Cottus pollux* Günther カジカ (カジカ, ドンボ)
 Family Gobiidae ハゼ科
43. *Eleotris pisonis oxycephala* Temminck et Schlegel
 カワアナゴ (ドンボ)
44. *Mogurnda obscura* (Temminck et Schlegel)
 ドンコ (ドンボ, クロドンボ)
45. *Gobius giurinus* Rutter ゴクラクハゼ (ドンボ)
46. *Gobius similis* (Gill) Jordan et Snyder
 ヨシノボリ (キシキシドンボ, ア
 ワマキドンコ(幼),
 サナボリ(幼))
47. *Acanthogobius hasta* (Temminck et Schlegel)
 ハゼクチ (ハゼクチ)
48. *Chaenogobius annularis urolaenia* (Hilgendorf)
 ウキゴリ (アメガタドンボ,
 エカキドンコ)
49. *Tridentiger obscurus* (Temminck et Schlegel)
 チチブ (デーグロドンボ,
 クロツ)

(4) 解 説

この両河川に分布する魚類は 15 科・49 種で比較的豊富な魚類相を呈しているが、この中河と海との間を移動するマエツ・チョウセンエツ・アユ・ウナギ・クルマサヨリ・マボラ・メナダ・ススキ・ヤマノカミ・カマキリ・ハゼクチの 11 種を除く他は定住性の純淡水魚である。詳しい生態的分布に就ては別の機会に譲るが、上流区ではヤマメ・アユ・ウグイ・アブラハヤ等の冷水性魚類を主とし、中流・下流区に移るにつれて温水性魚類を主とする豊富な魚類相をなしている。水産上の重要度から見れば、上流区ではアユ・ウグイ、中流区ではアユ・オイカワ・ウグイ・コイ・カマツカ・ウナギ・フナ・ハゼ類・ナマズ・ススキ・マボラ、下流区ではフナ・コイ・マボラ・マエツ・カムルチー・ウナギ・クルマサヨリ・オイカワ・ススキ・ナマズ・メナダ・ウグイ・ハゼクチ、止水区ではフナ・カムルチー・ドジョウ・ウナギ・ナマズ・タナゴ類・ハゼ類が主として漁業の対象となっている。

生物地理学上からこの水域の魚類相を見ると、日本に於てはこの両河川を含めた有明海湾奥部に注ぐ河川のみならず東アジア大陸に分布するマエツ・チョウセンエツ・ヤマノカミの 3 種が特産魚として分布し、ハゼクチは八代海湾奥部に注ぐ河川に一部分布する他はこの水域にのみ産し、カゼトゲタナゴは北九州特産魚としてこの水域に多いことは大陸系魚

類の浸潤が見られて興味深い。

池田兵司氏はこの水域より16科・62種を報告されているが、筆者の調査ではこの中シラウオ (*Salangichthys microdon*), ギギ (*Pelteobagrus nudiceps*), タモロコ (*Gnathopogon elongatus*), ハス (*Opsariichthys uncirostris*), タナゴ (*Acheilognathus moriokae*), イチモンジタナゴ (*Acheilognathus cyanostigma*) の6種は認められない。これ等は木下盛枝氏の言によると、当時の福岡縣柳河高等女学校所蔵の琵琶湖及びその他の地方産の標本が誤り記載されたものと考えられる。又池田氏記載のアリアケシラウオ・サヨリ・アシシロハゼ・マハゼ・シロチチブ・シマハゼ・ウロハゼ・ニラミハゼの淡水域の8種はこの目録に含まず、*Acanthorhodeus sciosemus* は *Acanthorhodeus atremius* の隠魚であるので除外し、*Acheilognathus lanceolata* と *Acheilognathus intermedia* との異同に就ては尙疑義があるが、今回は一応 *Acheilognathus lanceolata* に纏め、又 *Cobitis taenia japonica* と *Cobitis taenia striata* は *Cobitis taenia* に纏めておく。一方筆者はマエツ・ゼゼラ・カワバタモロコ・カムルチーの4種を追加したが、エツ属の2種に就ては河川内ではマエツが量的に多い。ニゴイは両河川が通じているに拘らず現在の所筑後川のみ棲息しており、矢部川からは認められない。

引用文献

- 1) 木下盛枝 (1933): 柳河の淡水魚 (矢部川の魚) プリント刷。
- 2) 池田兵司 (1937): 筑後川水域 (福岡縣) の淡水魚相に見られる大陸系魚類の浸潤に就て 博物学雑誌 第35巻, 第60号, 108—118頁。
- 3) 内田憲太郎 (1939): 朝鮮魚類誌 第1冊 絲頸類・内頸類 朝鮮總督府水産試験場報告 第6号。
- 4) 岡田彌一郎・中村守純 (1948): 日本の淡水魚類 日本出版社。

尙この水域の魚類の断片的報告に関する文献は池田兵司氏の論文に掲げられているのでここには省略した。

Résumé

In the present paper the writer gave a list of the freshwater fishes of Chikugo and Yabe River, in Kyushu Province, comprising 15 families with 49 species, together with some ecological and distributional notes.

Fisheries Laboratory, Faculty of Agriculture,
Kyushu University